

# 西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.165

## 平成30年度の消費生活相談報告

■相談件数 276件(前年度比2件増)

相談件数は前年度とほぼ同じですが、相談内容は多岐にわたっています。また60歳以上の方からの相談が約半数を占めています。

### ■主な相談内容

【架空請求 92件】

「消費料金の訴訟最終告知」などのはがきによる架空請求の相談が春から秋にかけて急増しました。

【融資サービス 18件】

多重債務や融資に関する相談が多いです。

【インターネット情報サービス 18件】

詐欺的なパソコン用セキュリティソフト契約や有料サイト料金などの相談が多いです。

【インターネット接続回線 8件】

光回線料金が安くなると電話勧誘を受け、契約してしまったなどの相談がありました。

【不動産貸借 7件】

退去時の賃貸マンションの原状回復などについて相談がありました。

◎一度契約すると、クーリングオフ以外の解約は非常に困難です。契約する前に十分比較検討するようにしましょう。

困ったときは消費生活センターへ相談しましょう。



教室は兵庫北播磨リトルシニアをはじめ関係機関の協力によって開催

福岡ソフトバンクホークス・甲斐野央選手が新記録  
先月12日、元プロ野球選手ら14名に参加いただき「ダイワハウス全国少年少女野球教室」が開催されました。市内関係機関の皆さまのご尽力により、教室は本市で4年連続の開催。県下12チーム、約200名の小中学生が参加しました。子どもたちにとって、元プロ野球選手から直接指導を受けることができる貴重な機会になったのではないかと思います。

黒田庄少年野球団、黒田庄中学校野球部の一員だった甲斐野選手の活躍を見ながら、子どもたちも将来の夢に向かって進んでほしいと思います。若者が誇れる「元気なまち西脇市」を皆さんとともに創ってまいります。



西脇市長 片山象三

## 市長からの手紙

西脇を元気に!!

65

フト会議で甲斐野央選手(黒田庄町黒田出身)が、福岡ソフトバンクホークスからドラフト1位の指名を受けました。本市出身でドラフト1位の指名を受けた選手は初めてです。

## めぐりコラム 3

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線322)



西脇ファーマーズブランドの認証を受けた農産物

## 地産地消で安全安心な農産物を

西脇市では安全安心な農産物の生産に加え、美しい自然を次世代につなぐため、環境にやさしい有機の里づくりによる農業を推進しています。平成25年4月からは、西脇市の環境に配慮した栽培方法で農産物を育てる農家を「西脇ファーマー」として認定し、農家が生産した農産物に認証シールを貼り「西脇ファーマーズブランド」として販売しています。

このブランドは、特別栽培農産物表示ガイドラインに基づく兵庫県の地域慣行レベルよりも、農薬や化学肥料の使用を30%以上減らして生産されています。

現在、市内では87名の登録があり、67品目の農産物が、市内直売所等に出荷され、安全安心な農産物として消費者に喜ばれています。

この取り組みを継続していくことで、地産地消による安全安心な食の提供や環境への配慮のみならず、郷土愛を育み、市内農産物への愛着が深まることにも期待しています。



▲ええまち比也野里で植栽体験の様子(昨年のトライやる・ウィーク)

# 好きです!! にしわき わたしのふるさと

## 心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

## 中学生が体験活動「トライやる・ウィーク」を実施

今年で22回目となる「トライやる・ウィーク」は、6月3日(月)～7日(金)の5日間、市内を中心とした109カ所の事業所にご協力いただき、中学2年生が体験活動を行います。

「トライやる・ウィーク」は、多様な社会体験の活動を通して一人一人が自分なりの生き方を見つけられるよう、平成10年に「心の教育」として始まりました。事業名には「挑戦するトライ」とともに「学校・家庭・地域の三者連携トライアングル」の意味が込められています。

この取り組みは、ふるさと意識の醸成・社会的自立に向けたキャリア形成の支援を中心に、中学生が達成感や自己有用感を高めて「生きる力」を育成することが目的です。

## オリジナル「トライやるワッペン」を付けて活動します

今年、比留田くるみさんのデザイン。西脇南中学校2年生の皆さんが自分たちの干支である酉と戌をモチーフに考えた中から選ばれました。



西脇南中学校2年 比留田くるみさん

## バンク登録ありがとびきりました

事業の趣旨に賛同し、バンク登録をいただいた事業所は117カ所でした。中学生の希望によって活動場所を決定したため、ご厚意にお応えできなかった事業所の皆さまにはお詫びします。来年度も、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

## 「トライやる」アクションの活動も行います

「トライやる」アクションは、中学生がスタッフとして地域の行事等に参加し、地域の良さやふるさとへの恵みに触れることを目的としています。年間を通して土・日曜日、祝日、長期休業中を実施します。今年度は8団体にお世話になり、20回程度の実施を予定しています。活動を見掛けられましたら、温かいご声援をお願いします。

▼問合せ 学校教育課(市役所内線520)

## 心のスケッチ

123

## 人権教育課コラム

### 生きていく証しを刻む

私の父は6年前に還暦を迎え、セカンドキャリアをスタートさせました。たまに出会ったときに仕事の話をすると、「自分のやってきたことを生かせる職場は、なかなかないなあ」と言っていて肩を落としていました。こんなに弱気な父の姿を見るのは、初めてでした。父と同じような悩みを抱えている方はたくさんいるのではないかと思います。

平成30年度に行われた人権に関する県民意識調査では、高齢者の人権に関して「働く意欲や能力があるのに雇用と待遇が十分保障されていないこと」について、およそ33パーセントの人が問題だと回答しています。

働く意欲もある。豊富な知識や経験もある。だけど、高齢というだけで働く場が十分に確保されないということが現実起きています。

働くことだけが、全てではありません。家族との時間や趣味の時間を充実させるという選択肢もあります。しかし、「期待されたい」「必要とされたい」「役に立ちたい」という

思いは、大切にしていきたいものです。新元号「令和」には、「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい」という願いが込められていると聞きました。誰もが生きていくことの証しを刻むことのできる社会であってほしいと思います。

「子は親の背中を見て育つ」とよく言われます。私は黙々と働く父の背中を見て育ちました。父からは、与えられた役割をやり遂げることに素晴らしさや、人の役に立つことの喜び、そして目標に向かって努力することの充実感など、さまざまなことを教わりました。そんな父を今でも尊敬しています。

私は父に対して、感謝の気持ちや尊敬の思いを伝えずに過ごしてきました。照れくさいですが、父の日には、素直に感謝の気持ちや尊敬の思いをバラの花とともに届けようと思います。(人権教育課)